

# 横浜港南ロータリークラブ



ロータリーは機会の扉を開く

(2020～2021年度 国際ロータリーのテーマ)



◎例会日/毎週水曜日 ◎例会場/京急百貨店 10F パンナトールーム「リバージュ」 045(848)1111  
◎事務所/〒233-0002 横浜市港南区上大岡西1-13-23 アウザイト 41-302号 TEL045(846)5111 FAX045(846)5129  
◎会長/平山 滋也 ◎副会長/豊場 健伍 ◎幹事/青柳 民朗 ◎会報委員長/坂巻 照代

## 第 2194 横浜港南ロータリークラブ週報 2020. 9. 2. [水] 第 2437 回例会報告

- ◎司会 松村SAA 委員
- ◎ロータリーソング なし
- ◎ソングリーダー なし
- ◎出席報告 宮島(史)出席委員

会員数	出席者数	出席率	前回修正率	前月平均率
32(7)名	23(5)名	76.6%	93.1%	93.1%

( )内は出席免除会員数

### \* 公式出席

- ・ 7月 2日 地区全体 北見会員
- ・ 7月14日 R財団 北見会員
- ・ 8月 4日 協議会 北見会員

### ◎ 会長報告

- ① 今年は海水温が高く、台風の数や勢力が大きいです。台風9号・10号の進路である九州方面ですが、皆様もお気を付けください。
- ② 今回からコロナ感染症対策として、机の間にパネ

ルを設置しています。例会終了時に皆さんでパネルを拭いて頂き片付けをお願いします。

- ③ 8月31日に理事会を行いましたので、この後、青柳幹事より報告して頂きます。
- ④ クラブで戦略委員会を立ち上げたいと思います。会長・幹事、委員会等は単年度ですが、3年後、5年後という中期の未来に向けて、考え方や方針など、つめていく委員会を立ち上げたいと思いますので、これから理事会で検討していきます。

### ◎ 幹事報告

- ① 8月31日の理事会報告を行います。
- ・ 10月から12月の例会は、コロナ禍が広がっている状況ですので、現在の月2回の例会を継続していきます。卓話はベテラン会員をお願いします。  
10月7日(水)・21日(水)  
11月4日(水)・18日(水)  
12月2日(水)・16日(水)
- ② 9月30日(水)18:30～『京急百貨店屋上』にて、親睦会を行います。回覧しますので出欠のご記入をお願いします。参加は自由で、費用は無料です。

③ 会員増強について、大井委員長から、ロータリーの社会的認知度を高めるために、例えば、『京急百貨店2のガーデンコート』、のロータリークラブの活動を紹介する催しを行ってはどうかと提案がありました。行うならコロナが収まって、おそらく来年以降になると思います。

④ 各テーブルに設置しているパーテーションを15台購入しました。セッティングに時間が掛かるので、お手伝いをお願いします。終了後はクリーナーがありますので、拭いて頂き分解した状態でテーブルの上に置いて頂きますようお願いいたします。

⑤ 会長指名委員会に関するクラブ細則の見直しを検討しています。

クラブ細則第1条第1節会長指名委員会構成員について、現況に合わせた形で見直しをします。会長指名委員会をパスト会長5名と会長の計6名で構成する方向で考えています。これについて、9月9日までに事務局より FAX します。次回の例会時に報告と承認をお願いしたいと思っております。

## ◎ 委員会報告

### ① 会報委員会

坂巻委員長

会報をメール受信している方でも紙の会報を見たい方もいらっしゃると思いますので、米山のレターケースに5部くらい入れておきます。そして、会報委員会の引き出しにも7月からの残った分を入れておきますので、ご自由にお取りください。

### ② プログラム委員会

海野委員長

卓話をお願いしていた港南区更生保護助成会よりお茶のご案内が来ました。保護活動PRと活動資金の確保の為にご協力をお願いします。

### ③ 親睦委員会

大井委員長

#### \* 会員誕生日祝

山野井会員(20日)

#### \* 会員入会記念日祝

平山会員(1日)・大井会員(11日)

## ◎ 『イニシエーションスピーチ』

浅井会員



皆さんこんにちは。本日はイニシエーションスピーチをさせていただきます。

私は市電やトロリーバスが全て廃止した年、市営地下鉄(上大岡・伊勢佐木長者町間)が営業を開始した年の、昭和47年(1972年)1月16日、現在の横浜市立大学附属市民総合医療センターで生まれました。

祖父は、戦後米軍払い下げの運搬業を営んでおりましたが、その後解体業を始めました。幼い時から解体屋の職人に囲まれ育ちましたが、将来解体屋になるという夢は全くなく、少年時代を過ごしていました。高校卒業後は、インテリアデザイナーの夢を膨らませておりました。しかし、祖父にその夢を断ち切れ、高校卒業後祖父の運転手として、こわし屋の道に足を踏み入れました。その後、他のことに目もくれず、壊し屋一筋の人生が始まりました。22歳で今の妻と出会い23歳で結婚、24歳で長男、34歳で長女を授かり、現在48歳で、これといった趣味もなく、今年でこわし屋30年。現在は、長男は家を出て一人暮らし、犬2匹に癒されながら、毎日を楽しんでおります。

それでは、解体についてお話させていただきます。

本来解体という言葉は、牛馬、鮪、鯨のような大型動物の皮をはぎ、骨と肉をバラバラに切り刻むことを指す言葉でした。木造建物については、昔から「ばらす」「こわす」という言葉が使われ、解体職人を「こわし屋」と称していました。

敗戦後、1950年代に入ってRC建物のこわしが始まり、玄能(大ハンマー)を用いて矢(楔くさび)をコンクリートに打ち込み大割してこわしていました。建築物の老朽化の為に建て替え、災害等で著しく損傷し修理が困

難な場合、建物の使用目的がなくなった場合、道路拡張などの為の立ち退きや行政機関による命令、その他の理由により解体される。又、歴史的価値のある重要建造物を移設する場合など、復元することを前提に一端バラバラにする工程を指すこともあります。

解体工事の方法はいくつかあり、内装材を除去した後、パワーショベル(重機)にアタッチメント(油圧破碎機など)を装着し、上部から少しずつ取り壊していく方法(圧砕工法)が一般的です。パワーショベルが搬入出来ないような狭い場所にある構造物を壊す場合は、エアブレーカーといった空圧工具または電動工具などの手持ち式機械を用いて、人力により上部から取り壊す方法もあります。

解体工事による発生材は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律により分別が求められるため、コンクリート片は油圧小割機などを用いて破碎し、コンクリート片と鉄筋に分別します。又、スケルトンバケット(網状のバケット)やスクリーニングバケット(バケット型回転ふるい機)などを使用し、木くずや砂利、コンクリート片など、混合物の選別作業を実施しています。

構造物の下部に鉄球(スチールボール)などをぶつけて取り壊し転倒させる工法は、煙突の解体などでよく見られますが、現在では騒音や振動などの近隣住民への影響や、転倒時の衝撃により飛散するコンクリート片に衝突するなど安全面でも問題があるため、現在ではあまり使用されていません。

建築物の解体は、建築物が人類史上に現れた時から当たり前に行われていました。古来日本では大工・とび・火消・古材木屋などが木造建築物の解体を手掛けていました。専門業種として成立したのは、第二次世界大戦後の都市部あたりからです。

特に1964年の東京オリンピックのころから鉄筋コンクリート造建築物の解体需要が増加してきました。最近では、解体需要の増加予測から、一般の土木建築業者、重機業者、産廃業者、スクラップ業者などの参入が目

立ってきました。1990年以前の創業の解体業者は25%位でした。

次に、解体業者数です。平成31年では、全国で43,186社あります。解体業の団体を公益社団法人全国解体工事業団体連合会と言い、正会員は41会員(都道府県)で、傘下企業数約1,600社あります。未加入は島根、広島、山口、高知、香川、愛媛です。神奈川県には約700社神奈川県に本社を持つ解体工事登録者がいると言われており、一般社団法人神奈川県建物解体業協会の正会員は59社、賛助会員は41社あります。

次に、解体業者のルーツと専門化について、昔はとび・火消・古木屋・石屋 斫り屋・曳き屋を解体業者と呼んでいました。解体業者の中にも、土木・建築業者・スクラップ業者・廃棄物処理業者・RC・SRC・S造躯体解体業者・建築物内装解体業者・木造解体業者・特殊工作物等解体業者・石綿等除却専門業者というようにいろいろあります。

解体に使われる道具としては、バール(かじ寅)・ガスバーナーは鍛冶屋さんが、職人の身長などに合わせて作ってもらいます。機械の入らないRCの建物をこわしたりする作業はブレーカーという空圧工具を使いますし、細かいはつり作業はチップーを使います。コンクリートは割矢で一端、穴をあけてこの割矢を差し込みブレーカーで割矢を叩くとコンクリートが割れると壊しやすくなります。

解体に使われる機械について、通常は土を掘るパワーショベル等の重機を使いますが、解体重機は底の鉄板が厚く油圧ホースが付いています。それは何故かという頭部分につけるアタッチメントを付けないと仕事が出来ないので、これを付けるために油圧ポンプが増圧になって下の鉄板が刺さらない様に鉄板が厚くなっています。高層から低層までいろいろな大割・小割・鉄骨カッター等の先端部分を組み替えて解体工事をしていきます。

今後の解体需要について、日本では高度経済成長に伴い、1960年代頃から高層ビルや分譲マンションなどの建設が相次ぎました。いわゆる「建設ラッシュ」です。それ以来、50年以上が経過し、今ではその時代に建てられた建物の老朽化が進んでおり、建て替えのための解体が各地で行われています。そうした解体ラッシュは空き家に繋がります。

空き家について、平成31年4月26日に平成30年住宅・土地統計調査の概数が公表されました。全国の空き家数はおよそ846万戸あります。港南区の空き家は1300戸です。空き家は所有者の為の活用スタートアップ支援補助金の事業や空き家リノベーション等ありますので、空き家をお持ちで困っている方がいらっしゃいましたら是非ご相談下さい。横浜市でも空き家の相談窓口があります。旧耐震基準に達していない木造住宅を解体する場合に補助制度があります。ただ、貸家は難しいです。

自然災害について、昨年の台風19号では相模原市は甚大な被害がありました。土砂に流されて建物ががけに落ちて亡くなった方がいらっしゃいました。落ちた土地の所有者は別の人で、そういった住宅を解体するには何かと手続きが長くて、この時は災害が起こってから解体が始まるまで一年程掛かりました。がけ地に家がある方はご相談ください。

横浜でもゲリラ豪雨で被害を受けています。港南区は山の上なので、土砂災害の危険個所にはあまり入ってないようですが、崖地は対策工事助成金制度がありますので、対象となる場合は使った方が良いでしょう。

建築物不燃化推進事業補助というものがあります。燃えにくい建物にする場合は補助金が出ます。

30年間生き続けて来て私が言えることは解体の話しかありません。解体工事もこれから防災や自然災害に対して社会に貢献できればと思っております。

本日はご清聴ありがとうございました。

## ◎ ニコニコボックス

大井委員長

平山会長

今日は幾分暑さが和らぎましたね。

浅井会員の卓話を楽しみにしております。

入会記念日祝を頂きまして有難うございました。

青柳幹事 橋浦会員 豊場会員 福嶋会員 市川会員  
小後摩会員

浅井会員の卓話を楽しみにしております。

坂巻会員

ちょっと涼しくなりました。マスクの中も少しは楽ですかね。

浅井会員の卓話を楽しみにしております。

上杉会員 海野会員

少し暑さが緩みました。でも油断大敵です。

浅井会員の卓話を楽しみにしております。

大井会員

今月末から始まる大学の授業はほとんどオンライン授業になりました。ただ、月一回対面授業なので、例会とぶつかったらその時は早退させて頂くことになります。よろしく願い致します。

浅井会員の卓話を楽しみにしております。

会員入会記念日祝を頂きまして有難うございます。

ニコニコボックス本日合計	17,000円
ニコニコボックス累計	194,000円

## ◎ 米山チャリティボックス 宮下米山奨学委員長

大井会員 坂巻会員 橋浦会員 宮下会員 4名

米山チャリティボックス本日合計	5,000円
米山チャリティボックス累計	34,000円

## ◎ 次週の予定

9月9日(水) 休会

16日(水) ・会長・幹事・各委員会報告

・松村会員 『インシエーションスピーチ』

23日(水) 休会

30日(水) 休会

## ◎ 会報

宮下会報委員